

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	膵切除後の膵癌患者における好中球-リンパ球比の臨床的意義
	研究対象者	2013 年 1 月から 2022 年 12 月の間に神奈川県立がんセンターで手術を受けられた膵癌患者 527 人を対象とします。
	研究目的	悪性腫瘍と全身性炎症反応が関連することは、多くの癌種で報告されています。多様な固形癌において CRP/アルブミン比 (CAR)、好中球/リンパ球比 (NLR)、血小板/リンパ球比 (PLR)、modified Glasgow prognostic score (mGPS) などの炎症性マーカーが予後因子となりうる事が報告されてきています。今回われわれは、当院で手術を施行した膵癌患者において、術前における Inflammation-based score のうちの一つの NLR と臨床的意義について検討します。
	研究方法	上記対象患者の臨床データを後方視的に集積し、臨床病理学的因子、周期因子、予後について後方視的に検討します。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます。
	研究期間	西暦 2023 年 8 月 28 日～西暦 2024 年 3 月 31 日
利用する試 料・情報の項 目 (チェック[X] が入った項目を 利用します)	[ ]試料:	[ ]血漿、[ ]血清、[ ]全血、[ ]末梢血から抽出した DNA、 [ ]病理検体(具体的に記載: _____)、 [ ]尿、[ ]糞便、[ ]唾液、[ ]胸水、[ ]腹水、[ ]脳脊髄液、 [ ]毛髪、[ ]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[X]性別、 [X]既往歴、[X]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、 [X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 [X]臨床所見・経過 (予後追跡データを含む)、[X]看護記録 [ ]その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センター 研究責任者	所属・氏名 消化器外科 (肝胆膵) 河原慎之輔
	共同研究機関 および責任者	なし
	その他の機関	施設名 (・氏名)
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター 消化器外科 河原慎之輔 045-520-2222 利用停止のお申し出は 2023 年 9 月 30 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公 表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	